



公益社団法人 いわて被害者支援センター

支援センターだより

平成28年6月8日発行

No. 16

巻頭言

犯罪被害者支援の重要性について



岩手県警察本部 警務部長 **種田 英明**

公益社団法人いわて被害者支援センターが、犯罪の被害に遭われた皆様への電話相談対応や直接的支援活動に積極的に取り組み、犯罪被害者等の心の支えとなって活動されておられることに対し、心から敬意を表する次第であります。

さて、犯罪被害者支援の現状についてですが、平成16年に犯罪被害者等基本法が制定され、それに基づき平成17年12月に平成22年度末までの約5年間に実現すべき具体的施策を定めた犯罪被害者等基本計画が閣議決定された後、平成23年度から平成27年度末までの第2次犯罪被害者等基本計画が策定され、推進されてきました。

この二つの基本計画の実施期間である約10年における、この国の犯罪被害者等を支援する施策には、大きな進展が見られます。

例えば犯罪被害者等給付金制度の拡充や損害賠償命令制度の創設等による損害回復・経済的支援等への取組や、被害者参加制度の導入とその拡充による刑事手続への関与と拡充への取組などが挙げられます。

しかし、未だに被害者等を取り巻く環境は十分であるとは言えず、引き継がれる課題、新たに生じてきた課題等を踏まえ、本年4月に第3次犯罪被害者等基本計画が新たに閣議決定されたところであります。

すなわち本年は、これまでの10年を踏まえ、新たな10年に踏み出す第一歩となる重要な年であると考えているところです。

県警察では、これまでも被害者のそれぞれのニーズに応じた支援の推進に努めてきたところでありますが、第3次計画の重要性をよく認識し、被害者等が再び平穏な生活を取り戻すために、警察のみならず、関係機関・団体との連携を強化し、被害者への支援活動を更に推進していく所存であります。

特に、犯罪被害者支援活動における民間支援団体との連携は重要であり、先に述べた基本計画におきましても定められているところであります。

当県においてその任を担われている公益社団法人いわて被害者支援センターの活動につきましては、警察はもちろんのこと、県民から大きな期待が寄せられているところであります。

いわて被害者支援センターは、今後、ますます被害者支援活動における重要度が増していくものと思われ、県警察としても、被害者等の支援の充実のため、連携の強化を図ってまいります。

終わりに、県民の皆様には、被害者を支える活動の推進により一層のご理解をいただくとともに、「社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくり」の実現のため、ご協力をお願い申し上げます。

イオン黄色いレシートキャンペーン

いわて被害者支援センターでは、一昨年からイオン盛岡店（盛岡市前潟）の黄色いレシートキャンペーンに登録し、毎月11日のキャンペーン活動に毎回参加し、レシートのご協力をいただいた方にはポケットティッシュを配布するなど、支援活動に理解とご協力をお願いしました。

昨年度は、登録されている20団体に対してイオンモール盛岡の専門店街のボックスと併せ総額約4,500万円の黄色いレシートが各団体に投函されました。

そのうち当センターには毎月多くの皆様からご協力をいただき、全レシートの約1割にあたる4,228,301円のレシートが投函され、合計金額の1%に相当する42,200円のギフトカードが贈呈されましたので、活動に必要なコピー用紙に交換をしました。



発行：公益社団法人 いわて被害者支援センター
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-10-2（岩手県立県民生活センター2F）

TEL：019-621-3750 FAX：019-613-3754
E-mail: info.niji.50@iwate-vsc.jp URL: http://www.iwate-vsc.jp

平成27年度「犯罪被害者支援県民つどい」

9月26日(土)矢巾町文化会館「田園ホール」において岩手県警察と共催で犯罪被害者県民のつどいが開催しました。

第一部の主催者や来賓挨拶の後、ワンクリック募金の協賛団体に対する岩手県警察本部長・被害者支援センター理事長連名の感謝状贈呈の後、第二部として「闇サイト殺人事件の被害者遺族となって」と題して、名古屋市在住の磯谷富美子さんによる講演とみやぎ被害者支援センター理事のシンガーソングライターさとう宗之さんの「ふれあいコンサート」が行われました。

特に、今回ははじめて盛岡以外の開催となりましたが矢巾町、紫波町の全面的な協力を得て、全戸にチラシを配布していただくなどの広報活動を行ったこともあり、これまで

で最も多い約470人の方の参加をいただきました。

特に、平成19年8月に発生した「闇サイト殺人事件」でたった一人の家族である娘さんを亡くされた名古屋市の磯谷富美子さんの講演では、事件発生から現在に至るまでの最愛の一人娘さんを殺害された状況や辛い現実と向き合い闘ってこられた磯谷様の思いを知り、大きな反響があり、参加された多くの方はそれぞれの立場でこれからの犯罪被害者の支援について考え直す良い機会となりました。



講演活動

被害者支援活動に対する協力を求めるため専務理事が講演活動を行いました。

特に、支援が必要なのは重大な事件や事故の被害者ばかりではないことや被害者の多くは被害前の生活に戻れないでいること、また支援センターの財政面への協力をお願いなど16回1,348人に対し講演を行い、被害者が置かれている立場について理解を求めました。

●岩手県警察本部 ●盛岡地方検察庁 ●安全運転管理者等講習会(10回) ●宮古市山田町交通指導員研修会 ●岩手大学「法と人権学習」 ●胆江地区被害者連絡協議会 ●その他

平成27年度第4回理事会の開催

平成28年3月15日にエスポワール岩手で平成27年度第4回理事会が開催されました。同理事会には11名の理事及び館に2名が出席し、細江理事長のあいさつの後、平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)のほか、特定個人情報取り扱い規定、事業規定や就業規定、旅費規程など9件の議案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

全国ネットワーク総会の開催

平成28年3月10日(水)東京都内において全国被害者支援ネットワークの臨時総会が開催され専務理事が出席をしました。

同総会は、一般社団法人への事業移行についての審議の他、第3次犯罪被害者等基本計画に伴う同ネットワークの取り組みや長野犯罪被害者支援センターから「軽井沢バス事故」に伴う対応についての報告・協議が行われました。

また、この総会では27年11月に開催された臨時総会と同様に、当センターの吉村専務理事が議長を務めました。

支援活動員の研修

平成27年度の支援活動員の研修を次の通り実施しました。

- 継続研修会(毎月実施)
- 全国被害者支援ネットワークNNNVSコーディネーターによる研修
 - ・7月7日 講師 みやぎ被害者支援センター 遠藤 和子 氏
 - ・9月3日 講師 くまもと被害者支援センター 高橋 久代 氏
- 北海道・東北ブロック研修会
 - ・6月25日～26日 山形市 4名参加
 - ・10月29日～30日 秋田市 3名参加
- 全国研修会
 - ・10月2日～4日 東京都 4名参加



支 援 活 動

昨年度から、支援活動の件数は大幅に増加しておりますが27年もほぼ同じペースで活動を行いました。

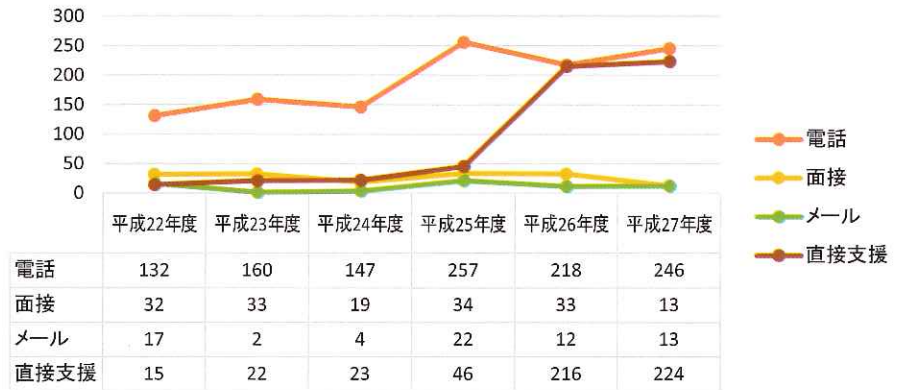
県警察や検察庁、裁判所などの関係機関と連携を保ちながら、被害者やご家族の要望を踏まえ、病院への通院、弁護士の無料相談、裁判の代理傍

聴などの付添い、心理相談の対応、施設を借り上げての面談、事件直後の短期間の日常生活支援などの支援活動を行いました。

また、重大な事件・事故の被害者や遺族の方に対する長期にわたる支援も増加してきております。

当センターの活動は、相談活動、支援活動ともすべて無料で、活動の内容は他に漏れることはありません。相談者のご要望を踏まえて必要な対応しますので安心してご相談ください。

年度別各種相談・支援件数



支援活動の現場から

私は、沿岸部で性犯罪の被害に遭われた方の支援を担当しました。自宅での面談は人目につきご本人の気持ちを尊重して警察署やホテルの1室などを借用して面接いたしました。

加害者は逮捕・起訴され裁判になる事案でしたので裁判の流れを分かりやすく説明するため、センター独自のフローチャートを作成し、マーカーを引きながら、ゆっくりその都度その都度必要な説明をするよう心掛けました。

ほとんどの場合、裁判というのは初めての経験であり、どのようなことが行われ、何をしなければならないのか被害者や家族の方が想像するのは難しいことです。

そんな中、この独自のフローチャートでの説明は今どのようなところにあり、次に何が行われるのかを理解していただくためにとても有効でした。

また、遠方ではありましたが頻りに連絡を差し上げたことにより困りごとに対して速やかなサポートができたことと自負しております。問題を抱えて暗く硬い表情から一転、明るくニコやかな笑顔を見ることができたその瞬間はとても嬉しいものでした。

裁判が終了し、無事に当面の支援は終わりましたが加害者が出所してきたときから新たな支援が始まりますが、これまでの支援を成功に導いたのは警察や検察庁や弁護士さんなど関係機関の連携があったからこそであり、日頃の連携の大切さというものを改めて実感した支援でありました。(ボランティア支援員)

切手を寄贈された方、ホンデリングにご協力をいただいた方から、次の手紙をいただきました。ご協力ありがとうございました。

皆様には日頃の活動誠にご苦勞様です。日々被害者の方々への支援には頭が下がります。

先日、会報の送付をいただきありがとうございました。封筒に切手を使用されておりましたので母親が元気な時に買いためていた切手が多種ありましたので活動にお役に下されれば幸いです。

これからは寒くなりますのでお体ご自愛下さいまして活動して下さい。(盛岡市Aさん)

過日は、ホンデリングの件で大変お世話になりました。

た。わざわざお越し下さいました上に所定外の本までお引き受け頂きまして恐縮いたしております。

此の度、バリューブックス様から受領書が全国ネットワーク様よりのご挨拶とともに送られて参りました。

文字どおりの貧者の一灯ですがお役に立てていただければ嬉しうございます。

頂戴いたしましたパンフレット等改めて読ませて頂き、この度はいろいろ勉強をさせて頂きました。

何よりもこのような貴いお仕事に関わっておられる方々の存在を知ることができましたことが収穫でございます。

今後ともご縁が続きますことを家族とともに念じております。まずは古い書物達が幸せでございます。

この度は本当にありがとうございました。お暑さの切、くれぐれもお大事にご活躍下さいませ。(盛岡市Bさん)

広 報 活 動



犯罪被害者支援週間ふれあいコンサート

10月3日(土)盛岡市前潟のイオンモール盛岡セントラルコートに「犯罪被害者支援ふれあいコンサート」を開催致しました。当日は、細江理事長の開会の挨拶の後、岩手県警察音楽隊による演奏が行われましたが、週末でもあり多くの人が足を止めて演奏に聞きっていました。

また、会場ではパネル展示のほか、ボランティアの支援活動員によるポケットティッシュの配布を行い被害者支援活動に対する理解と協力を呼びかけました。



県警音楽隊定期演奏会

11月28日(土)岩手県民会館大ホールで青森・秋田

両県警音楽隊の協力を得て「県警音楽隊定期演奏会」が開催されました。当日は約1,100人の方が訪れましたが、支援センターではホール入り口でチラシやティッシュの配布、募金の呼びかけなどの活動を行いました。

特に、今回は、県のマスコットわんこ兄弟のぬいぐるみ2体を借用し、広報活動を行いましたところ大変好評でした。



他団体の大会での広報

10月1日(木)岩手県安全安心なまちづくり大会(盛岡劇場)、10月6日(火)岩手県暴力追放県民大会(一関文化会館)、11月4日(水)岩手県正しい交通ルールを守る県民大会(盛岡グランドホテル)の各会場において主催団体のご協力を得てロビーなどでパネルの展示やティッシュの配布活動を行いました。

募 金 箱

平成27年7月から9月までの3か月間にわたり、県内50店舗のコンビニエンスストアのご協力を得て、レジカウンターに募金箱を置いていただきました。その結果101,422円の寄付が寄せられましたが、24時間営業で多くの方が訪れるコンビニエンスストアへの募金箱の設置をはじめ、岩手県コンビニエンスストア等防犯連絡協議会連合会のご協力をいただいた全店舗へのポスターの掲示は、支援センターの広報活動に大きな成果が認められました。

平成28年3月31日現在の募金箱の設置状況は次のとおりです。

- 県内全17警察署 ● 盛岡グランドホテル ● マイヤ仙北店 ● マイヤ青山店
- マイヤ滝沢店 ● マルイチ矢巾店 ● 北日本通信 ● 菊池塗装工業(江刺)
- ディリーヤマザキ盛岡南インター店 ● 江刺交通安全協会 ● 岩手自動車学校
- S Tモータースクール北校 ● S Tモータースクール南校 ● 花輪橋自動車学校
- 中央自動車学校 ● 岩手中央自動車学校 ● 平金商店パステル館
- 岩手県庁生活協同組合 ● ホットスター田村(盛岡) ● アイックス(二戸市)



ホンデリング

読み終えた本を寄贈していただくホンデリング活動に多くの皆様からご協力をいただいております。平成27年1月1日から同12月31日までの1年間で計216個、総冊数7,096冊、買い取り金額128,023円のご寄付をいただきました。

このうち、宮古市在住のご遺族の方から1,729冊のご寄附をいただいたほか、東京や大阪、神戸など他都府県在住の方からもご協力をいただきました。

読み終えました本があれば、長野市の買い取り会社に電話をしていただきますとヤマト運輸がご自宅まで引き取りに伺い、5冊以上は送料無料となります。皆さまのご協力をお願いいたします。

